

ふくしま

再生 短信

2022 / 5 / 3 - 4 飯館村訪問記 其の3

ズ ッ ト ソ ー コ 図 図 倉 庫 誕 生

飯館村のホームセンター・コメリ跡地にサイエンス（アート）クリーンテクノロジィが集結する実験秘密基地誕生、名付けて「図図倉庫（ズットソーコ）。事業仕掛人は合同会社マーリングMARBLING（共同代表は松本奈々さん・矢野淳さん）。



2022年5月3日と4日、晴天に

恵まれた両日、記者は「図図倉庫プロジェクト」会場を訪問（写真1）。

会場前に展示された「地球の実」は彫刻家・松田重仁さんが3月の公開彫刻プロジェクト。



プロジェクトで完成した作品（写真2）。倉庫空間は広く頑丈、再生の会は会場内に移動測定車2台を、放射線観察の霧箱と一緒に展示（写真3）。



お車がいよいよもう一台、キッチントレーラーのズットカフェ。シェフは地域おこし協力隊・松尾洋輝さん（写真4）。コーヒールを淹れていた

速報 「地球の実」

再生の会の高橋正二さんが図図倉庫展示中の「地球の実」の製作に使われた宗夫さん宅北のケヤキ材の放射線測定を行い、6月5日速報データを報告。放射線濃度は暫定値であるが心材、心辺材と

ひいお爺ちゃんの血をひく異次元の絶品。記者は美術作家・酒百宏一（さかおこういち）さんのワークショップ「までい花プロジェクト」に参加（写真5）。木葉を色鉛筆で写し取りみんなで花空間づくり。会場では「ひようたんポトル」が思わぬ人気者（写真6）。アーティスト・長谷川仁さんが村の農作業を通して未来につながる作品づくりを村民と協働し



実践、商品化を目指す。東大むら

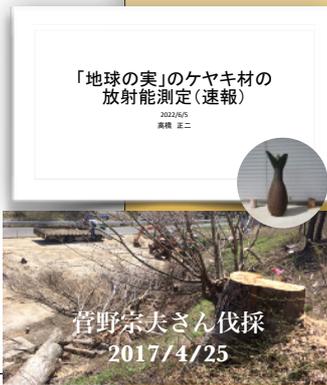
と協働し実践、商品化を目指す。東大むら



おや！桜愛でる大久保金一さんの手首に青色のイベント会場入場バンド、金一さん若い

一人ひとりの小さなアクションも、未来の地域環境づくりにつながる場所、それが図図倉庫です（MARBLING）

（文責&撮影・若林一平、ケヤキ伐採写真は菅野宗夫さん）



も、建材、美術用材だけでなく食器類への利用も考えられるレベル、とのコメント。今後、測定精度を上げて測定継続予定。